

Info 1

第10回若手臨床研究発表会（個の医療研究会共催）

- ◆ 日時：2016年5月27日（金）18時30分～19時30分
- ◆ 場所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
（神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711）
- ◆ 講演：「新規人工骨の開発」
演者：神鋼記念病院 整形外科医長 折井 久弥
- ◆ その他：日本医師会生涯教育講座 1単位申請
- ◆ お問い合わせ先：神鋼記念会 総合医学研究センター 担当：兒山 TEL：078-261-6711

Info 2

第1回神鋼記念病院 連携医とつどう会

- ◆ 日時：2016年6月23日（木）18時00分～20時00分
- ◆ 場所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
（神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711）
- ◆ 内容：「ご出席頂いた先生方のご紹介」・「当院新任医師の紹介」・
「紹介患者さんのその後（2症例）」・「当院循環器内科 講演」
- ◆ その他：軽食をご用意しております
- ◆ お問い合わせ先：神鋼記念病院 地域医療連携センター TEL：078-261-6711

開業医探訪
inquires into a doctor
Vol.26

【内科・呼吸器科・外科】
小川クリニック

今回の開業医探訪は、JR三ノ宮駅から
徒歩3分にある呼吸器が専門の
「小川クリニック」を訪ねました。

information

- 神戸市中央区旭通5-2-17
- TEL：078-221-6308
- 診療科：内科・呼吸器科・外科
- 休診日：土曜午後・日曜・祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
16:00～19:00	○	○	○	○	○	×



診療を開始されてどれくらいになりますか？

大学卒業後、大阪大学第1外科に入局し大阪府下の関連病院に勤務してまいりました。妻の伯父が開業していた武医院を継承・再開という形で2004年に開業しました。

どのような患者さんが来院されますか？

仕事帰りの方と周辺住民の方が半々です。内科一般と呼吸器科を標榜しているため、喘息・慢性閉塞性肺疾患・睡眠時無呼吸症候群、最近は咳の症状で受診する方が多いです。また元々呼吸器外科医ですので傷の縫合なども実施しています。さらに中央区内の往診も行っており、在宅酸素療法を受けておられる方や緩和ケアの方も診ています。

診療にあたり心掛けていることは何ですか？

学生時代を公立学校で過ごしたため、明治時代の役人のごとく公の意識を持ちながら診療しています。そして患者さんひとりひとりに目を向けた診療に取り組んでいます。診療中には家族の相談をはじめとする病気以外の相談を受けることもしばしばあり、お話を聞きしています。

ひとこと

2012年より中央区医師会の理事を担当し、いろいろな病院の先生と話す機会が増えました。2016年4月より副会長を拝命し会議などで忙しくなりそうです。2025年、団塊の世代が75歳を迎えます。この2025年問題に向け、皆で協力しながら平穏な暮らし作りができればと考えています。

Medical News

2016年5月
Vol.107

Shinko Hospital

Contents

- * 特集 [メタストロン注による骨転移の疼痛緩和]
- * 新入職医師のご紹介
- * Information
・講演会のご案内
- * 開業医探訪
「小川クリニック」

神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL：078-261-6711（代表）
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索
http://www.shinkohp.or.jp/

神鋼記念病院
Medical News
2016

5

[特集 放射線治療科]

メタストロン注(ストロンチウム-89)による
骨転移の疼痛緩和

痛みを緩和する方法のひとつ
『メタストロン』

骨転移の痛みは、精神的、身体的な苦痛を伴うため、痛みをやわらげて患者さんが安心して暮らせるようにする治療はとて大切で。当院では多職種が関わって、オピオイドを含む鎮痛薬やホルモン製剤、化学療法、骨修飾薬(MBA)、外照射、外科療法などの治療法を行っています。

放射線治療科では、痛みのある多発骨転移に対しメタストロン注(ストロンチウム-89)による治療も行っていますので紹介させていただきます。骨シンチの集積に一致した痛みのある患者さんが適応になります。1回静脈注射するだけなので患者さんの負担は軽く、3ヶ月毎に繰り返して使用することができます。

3月にメタスタロンを注射した乳癌骨転移の患者さんは、最初は外照射を繰り返していましたが、次第に多発となりメタストロンに切り替えました。腰痛が徐々に強くなってきたが、便秘や吐き気のためオピオイドを控えているのでつらいということで、メタストロンの注射をさせていただきました。注射後4日目から2日ほど強い痛み(フレア現象)がりましたが、2週間後には疼痛はかなり軽減し、鎮痛薬を減らすことができました。「痛みが軽くなって気分がよくなったので、お花見に行きましたよ」と優しい笑顔で言っておられたのが印象的でした。このように、骨転移に伴う痛みを緩和するひ

つつの方法としてメタストロンがありますので、困っていらっしゃる患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。

メタストロンのよい適応

- ・上記の患者さんのように、多発骨転移があつてオピオイドを使用しているけれど、十分コントロールできていなくて痛い、鎮痛薬を増やそうと思っても便秘などの副作用のため増やせない。
- ・照射した部位がまた痛くなってきたけど、同じ部位だから再照射できない。
- ・照射の時にじっとしていられない。
- ・骨転移がつきつきに出てきているので予防効果も期待したい。

メタストロンとは？

メタストロンは、ストロンチウム-89という放射線を出す物質(アイソトープ)を含んでおり、骨の成分であるカルシウムと同じように骨に集まりやすいので、骨転移部では正常の骨より長くとどまり、その放射線によって痛みが和らぐと考えられています。健康保険が適用され3割負担の方で約10万円なので、照射を繰り返すよりも経済的と言えます。文献レビューによると奏効率は平均76%、完全寛解は平均32%、鎮痛薬減少例71～81%、効果発現期間は投与4～28日後、効果の持続期間は平均3ヶ月(最大15ヶ月)とされています。

しかし、あくまでメタストロンは疼痛緩和効果のみを期待するものなので、骨折予防が必要な場合や、溶骨性病変、

脊髄や神経根圧迫、腫瘍の骨外浸潤などがある場合には外照射が必要で

ゾフィーゴ(塩化ラジウム-223)

骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌を対象にアルファ線を発するゾフィーゴ(塩化ラジウム-223)が年内に発売される予定で、当院でも治療ができるようになります。この薬はメタストロンと同様に1回の注射で済み、骨髄抑制が少ないのが特徴で、全生存期間を有意に延長することが確認されています。前立腺癌の骨転移がかなり進んだ場合には、メタストロンは骨髄抑制のために使えなかったり、効果が劣る場合があるのでゾフィーゴに期待しています。



放射線治療科 科長
藤代 早月
Satsuki Fujishiro

大阪医科大学を平成2年に卒業。
日本医学放射線学会専門医、日本放射線腫瘍学会認定医、マンモグラフィ読影認定医などの資格を持つ。